

第三十回  
第五次  
會議錄

第三十四 第五次會議錄

日時 檀比里九一年 六月三十日 上午十時三十分

場所 慶尚北道議會議事堂

司會 副議長 權東河

出席議員 在籍五十四名中

致謝議員

吳二

一出二帶公務員

內務、文社、衛生、教育、各課長

一會議錄

第三十三回第四次會議錄無修正通過

報告事項

莫陽教育監外

入名三三三

石保亭等公民學校

道立昇格之要案此之陳情書外一件

副議長

陳情書之該當分科の回付に關し

A

政府の報告

今日り最終日なり。台の行政監査の報告あり

残餘案件の順序による処理あり。

委員會別報告の概略なり。班報<sup>別</sup>報告の概略なり。

希望者の多いこと。其の概略なり。

### 鄭克沫議長報告

金泉市の難民定着事業用故護糧穀取扱の計あり

三八年九月の吹拂り運送穀の逢着あり。難民相互内

の紛争の惹起あり。雜穀・小麦・胡麦・秣麦等一三九

石の二町三倉庫の死蔵ありあり。是の二町三改選

論議ありあり。地域の活用論議を要望あり。

保管状況の模糊は是を道に碓石調査の要





金陵部

① 免許稅賦課之  
稅源捕促之極引租息

三九年四月一日  
農新面鳳谷洞崔

判大外十四名斗搗精工場許可  
對記免許稅賦課

減下

三九年八月二十八日  
南面雲南洞善相寺外  
二名斗壳菜

請負許可  
對記賦課減下

五年六月新益記  
會課室  
維持管理  
不徹底

壽命維持  
應急補修  
要記

金東農業高等學校

實習地生產處理狀況  
對記

一九二九年度生產額 一、五三六廿二圓。年々是移越也

一九二九年生產額 一、八五卅中六之五三三圓。是移越也

1. 所要的人天災等諸費を現物に支給し

2. 賣却処分等逾期に拂戻し収入を増加し

3. 誠意を全らし

4. 生産物量却て収入を豊富にする

一九二九年分収入金二四八三圓。九〇年の移越額は二九〇年一年

向う利子は合記全収入額の二五三七、六八七圓に三三

三圓に九一、〇九七、三七四圓に道の拂込に外

種子代肥料代以て木材運賃、実習地関係、来春接

待費、苗木耕耘牛数種、人夫賃、水税、秋收感謝節

諸雜費等は、此下三支出に依り、測量板を歸入に



代金... 支出... 2000

1904年11月11日

期... 1000... 2000

形便... 道... 學校

收... 經理... 恩利

是正... 講... 適當

要

教育已芬條

覺... 施設... 其他

美... 巨款... 洋

內... 教育... 相... 不合法

即... 雜... 當... 表面化





各歲去此項善款의 印紙를 貼付치 아니하고 稅務官吏

의 完見地 後 理會을 納付의 形跡이 數多치 아니하 執務

上의 細意로 注意가 要함인 點은 自必相互 同州 咸信을 幸히 勿

二 校董 運會의 非 違 事實

榮善의 女學校의 校董 總數가 二四八인 點은 正의 可 學校

長의 卽 卽 會 運을 正의 點은 五八〇七八人 正의 可 學校 運會

의 支障이 必은 之 勿 論이 且 校長 職을 正의 規로 正의 事

早 速로 正의 事 正의 事 正의 事 正의 事 正의 事 正의 事 正의 事

三 教師 配 置의 件

理化道가 配는 此 學級 數는 二七三 學級인 點에 配置의 教師의

三二七名으로 四〇의 過半이 卽의 增置의 理由를 說明하 卽

구의 此의 點은 正의 要 望인 點

華東中學  
教師配置之不合理條件

一、崇中學校教師配置之不合理  
必要之可七名之配置之可  
三名之必要之可一人之配置之可  
教師配置之教育上之保障  
將來之影響之至大之可  
早連是正之必要之可

孫炳台議員報告

星洲郡

一、執務狀況(一郡片)  
文具處理之可  
整理保存之徹底  
迅速正確之執務狀況  
二、良好之便之可

各機關之緊密之連絡外協助之能率之甚之運覺之可  
水卜 過度之他官尊凶事之弊端之生也之りり

二 是年農業高等學校

日帝之叫之斗施設之 死後屋破之り復之り困難之り  
道查補助 <sup>氣</sup> 要査狀云此也

三 昇桑不植付狀況之良好之り 民間認識之り之り

將來春春郡之り有望之り也

四 夏芽移植之試驗之結果成功之り 今年之り之相當之  
收穫之り之り也之り之り 一層之り之成果之り  
揚豆之り努力之り之り要査之り

△  
2  
皇州郡个善山郡인來

一郡庁  
行政諸般の一旦礼町細密に検討礼恩より二成積に比較  
的良好に

### 要望事項

①善山面民此全作の要望に尚井、路東、善山内河地方  
道路修理に緊急性の證礼町尚井、善山道深なる通

礼町、前町時情真に提出礼以礼りりり  
尚井路車面は

一口三美を礼礼に以て面より善山礼に  
礼町より善山究度上、大に利便外礼より早連

礼町日内、是現礼礼より要望此

現礼礼より要望此

② 市場移転補助費要望の件

美山市場は、元来市場として不便な場所であり、  
六二五事業受り

戦禍で因縁に敷地を買収し、市場用地に取得した  
排水工事施設

排水工事施設は、  
百五十万に補助を要望する

以下

③ 経費節約・事務簡素化のため、地方団体の編入は

水利組合等については、必要認めらる

④ 山林緑化の促進は、美地と悪地の

砂防工事の痕跡は、是より注意し、緊急緑化の方策

を要請する

除

(3)

青松郡決算監査  
三月



○卷地改良深竹管

縣東南秋江改水 村東南地洞溜池 巴川面新基改

○建設溥所管

縣西面道路修理 府南面馬坪川堤防

○教育區公所管

巴川面松江心民學校新設教室

以上實地調查結果 良好成績 呈揚記號

教育區公所

各學校學級當配 需調查之 各學校以物

購入記請書之依記中 支拂記之 修理費之 即內各

校川冊床不足記之 共同之 購入記中 查實之



既給正此

一般の如所感之。青松、永川、同、道路、暗渠、橋梁等破壊之甚し。周王山道路亦是不便之甚し。給其外、夏實中學校之學生數、比、校舍、不假、校舍、且、切迫、記事、情、り、早、運、建、築、の、計、に、協、助、の、要、の、甚、し。

張敬花議長報告

此等事農事救地一二。坪言。安東邑市街地、歸入

此二之、二報告、全、未、支、拂、の、計、に、早、運、に、解、決、す

要、為、王、記、  
通、学、の、品、の、計、に、國、長、送、奉、  
國、長、送、奉、  
國、長、送、奉、

二、安、東、中、學、校、學、徒、復、子、團、の、結、成、  
其、結、成、の、計、に、

이... 結尾... 要...

三. 奉化郡 才山... 學校... 災... 因... 被... 災... 復... 災...

... 學校... 災... 復... 災... 復... 災...

不可... 學校... 災... 復... 災... 復... 災...

時日... 奉化郡... 春陽面... 小川面... 西面之... 白山川... 連接... 已

非... 農... 教... 元... 天... 柳... 山... 坂... 草... 川... 從... 吉... 元... 乙

... 瑞... 有... 交通... 通信... 網... 一... 切... 社... 邑... 會... 議... 決... 得... 以

... 困... 難... 元... 甲... 誠... 死... 之... 境... 以... 此... 一... 切... 社... 邑... 會... 議... 決... 得... 以

... 戶... 中... 要... 救... 護... 救... 護... 三... 九... 一... 日... 一... 切... 社... 邑... 會... 議... 決... 得... 以

... 應... 急... 救... 護... 三... 要... 旨... 以... 此... 一... 切... 社... 邑... 會... 議... 決... 得... 以

△ 四

五、奉化部等之電望其能之費、道費及其他諸般送金

此處之附送金科全之要領三三三三即全融機弁之送金

六、檢査之（現在某州管内全融機關之通理之學又

六、奉化之民學校檢査是教科書歸入配付之出之付

道心指是之教材之代金三三三三。此中一般之論

之約三刻查費云々之出之出。今般監査結果如斯也

事實之品也。口。

陰分

朴老教說

並查報告之以上으로 然然 重要性之 決算의  
可否로 及之의 이 何하 本說의 意思의

外九路說

簡單히 外之의 是 是로 否로 否로 否로  
是로 否로 否로 否로 否로 否로 否로 否로

諷

外老教說의 意思는 何하 本說의 意思의  
是로 否로 否로 否로 否로 否로 否로 否로

諷解





外九法 改

月政部就人事問題以討論本部既較之定員

五名中一現勤務者數五。名二三行 二也各之

調查以外三事柳德洪君之道地方保の地方技

士全在元君之道由卷務課の地方技員孫丁録

表之造林業試驗場の盍陵部 T.O. の林毛補

案鏡録之本部の各之勤務之命 命之形或也

如斯於人事措置に不当の處事 吃坐

現複雑多端の國家事務に末端の集中の

増員 必要也 現狀の之不拘之該為

定員之權力之引用 部

行政之弱化的 部 早連 部 當記是

重要記事の、その民衆書報の対应的

民主主義國家の一般輿論が為政者の施政

甚豊中野に於て之、再言を要し皆之を民衆

書報の敏捷正確の処理に於て亦是と

一部分のみの例、檄文四二九年九月二十六日付接受

江東面有琴里、蔣原夏三、及び揚精工場

設置反對嘆願書の理合及び何等の調査

形式の如何、満田伯月を其様放棄の欄外

の部卒命令、いかにして記載するに於ては

理由を中野に、之の如何に、以て之を道徳的

優劣の如何に、相當の面積を保有するに於て

管理事項の如何に、不徹底非の附近民有竹林の

此等嘲笑是不足为怪也 现状如此 今後

管理の徹底を期すの外に 此の  
徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に

徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に 徴収の徹底を期すの外に



이 공은 施設 あり して 他 機關 あり して 規模 大 少 あり

따라 一般 便 益 あり して 抵 償 あり して

要 領 あり して 必 ず 小 額 あり して 控 金 あり して

議 長

當 否 報 告 あり して 長 短 あり して 二 次 決 方 法 あり して 改 善 あり して 必 ず 必 然 あり して 必 然 あり して

李 龍 溪 議 長

處 理 委 員 五 名 あり して 選 出 あり して 議 長 團 あり

一 任 期 あり して 二 次 期 あり して 報 告 あり して

三 勤 儉 あり して 必 ず 必 然 あり して 多 數 あり して 再 審 三 審 あり

이와 동역의 성립

結

憲法의 성립

憲法의 성립은 그 의의와 實行의 當否의 事實에

관한 問題이며 實行의 當否의 事實은 그 때

의 事實에 依하여 構成되는 것이므로 그 당시

의 事實에 依하여 構成되는 것이므로 그 당시

의 事實에 依하여 構成되는 것이므로

徐敬洙의 성립

憲法의 성립은 그 의의와 實行의 當否의 事實에

관한 問題이며 實行의 當否의 事實은 그 때



波

受

早定道本之想也其結果

之近期波余叫執行當

易之各年之及之之之提波之全負

波波波波

二可也此之四二九。年交廢止上迄歲入波波波波

中軍政之官其特別之計決年業高波波波波

年決年事之長川之報告也此也

波年決年事之長

歲入決年總額之九千三億三千五百五十九萬八千二百八十九

四十三萬九千九百九十九萬七千七百九十九萬九千九百九十九

七千九百九十九萬九千九百九十九萬九千九百九十九萬九千九百九十九



款보다 三億三行二百九拾三萬三行六百拾二圓四三

이不足되므로 國庫補助의 全達滯延外 萬

不得已의 事業移越等으로 五年度의 移越되

다 餘의 歲公 予 予 款의 九億一 行 六百 回 於

三萬九 行 百 二 圓 의 節 減 은 生 川 外 及 三 國 庫

補助의 前 減 歲入 缺 陷 의 補 充 外 實 行

予 年 執 行 以 緊 縮 財 政 의 節 約 等 으로 因

此 之 由 也 本 決 年 款 의 歲 入 歲 出 의 差 額

法 律 書 四 卷 의 各 款 項 目 別 五 細 定 計 案 由

查 一 切 之 由 日 額 不 足 之 五 萬 政 課 新 設 後

稅 担 中 稅 担 牛 更 新 事 業 外 山 林 課 新 設

道 有 味 製 炭 事 業 의 差 額 의 再 檢 討 의 必 要 也

35A

此已思辨到也 本件の討議に 特別委員等は

構成に對し 再檢討の必要を 予決委員等が主張して

提案の可否に 決議したるものとして 是を提案の可否に

對する事柄 委員等が 歳入歳出の算入執行

決議の可否に 大體的として 議決の可否として 認

定するものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

したるものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

したるものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

したるものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

したるものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

したるものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

したるものとして 本決議の可否を 承認するものとして 決議

決算表の八億五千九百二拾八萬二千五百九拾式圓  
 といふ歳入予算表の一億四千二百七拾三萬九千七百  
 三十八圓の即減を以てその外は一億一千万五千三百  
 二拾二万八千五百圓の歳入予算の即減外高を得  
 已に翌年の繰越金款二千七百七拾萬四千  
 四百五拾式圓九拾九萬圓の原金の外に以上  
 の外に決算の報告を以てしたるは以上

決算

一覽

予算決算の報告を以て決算の報告結果報告に  
 して各常任委員の報告を以てして  
 通算の報告を以てして各委員の報告を以てして





定例의 變<sup>1</sup> 隘路가 變<sup>2</sup>을 思<sup>3</sup>料<sup>4</sup>되며 松野<sup>5</sup> 稷<sup>6</sup> 繳<sup>7</sup>

收<sup>8</sup>의 變<sup>9</sup>의 定例<sup>10</sup>이 然<sup>11</sup>은 事<sup>12</sup> 限<sup>13</sup>은 變<sup>14</sup>의 如<sup>15</sup>한 事<sup>16</sup>에

定例<sup>17</sup>의 如<sup>18</sup>한 事<sup>19</sup>에 不<sup>20</sup>作用<sup>21</sup>이 變<sup>22</sup>은 事<sup>23</sup>을 不<sup>24</sup>는 事<sup>25</sup>에

當<sup>26</sup>馬<sup>27</sup>의 變<sup>28</sup>이 變<sup>29</sup>의 變<sup>30</sup>에 生<sup>31</sup>覺<sup>32</sup>한 事<sup>33</sup>가 歲<sup>34</sup>入<sup>35</sup>을 不<sup>36</sup>는 事<sup>37</sup>에

定例<sup>38</sup>의 變<sup>39</sup>에 變<sup>40</sup>은 事<sup>41</sup>은 事<sup>42</sup>에 直<sup>43</sup>接<sup>44</sup>한 事<sup>45</sup>에 變<sup>46</sup>의

變<sup>47</sup>의 變<sup>48</sup>에 變<sup>49</sup>은 事<sup>50</sup>은 變<sup>51</sup>의 變<sup>52</sup>에 變<sup>53</sup>은 事<sup>54</sup>에 變<sup>55</sup>은 事<sup>56</sup>에

變<sup>57</sup>은 事<sup>58</sup>에 變<sup>59</sup>은 事<sup>60</sup>에 變<sup>61</sup>은 事<sup>62</sup>에 變<sup>63</sup>은 事<sup>64</sup>에 變<sup>65</sup>은 事<sup>66</sup>에

變<sup>67</sup>은 事<sup>68</sup>에 變<sup>69</sup>은 事<sup>70</sup>에 變<sup>71</sup>은 事<sup>72</sup>에 變<sup>73</sup>은 事<sup>74</sup>에 變<sup>75</sup>은 事<sup>76</sup>에

變<sup>77</sup>은 事<sup>78</sup>에 變<sup>79</sup>은 事<sup>80</sup>에 變<sup>81</sup>은 事<sup>82</sup>에 變<sup>83</sup>은 事<sup>84</sup>에 變<sup>85</sup>은 事<sup>86</sup>에

變<sup>87</sup>은 事<sup>88</sup>에 變<sup>89</sup>은 事<sup>90</sup>에 變<sup>91</sup>은 事<sup>92</sup>에 變<sup>93</sup>은 事<sup>94</sup>에 變<sup>95</sup>은 事<sup>96</sup>에

變<sup>97</sup>은 事<sup>98</sup>에 變<sup>99</sup>은 事<sup>100</sup>에 變<sup>101</sup>은 事<sup>102</sup>에 變<sup>103</sup>은 事<sup>104</sup>에 變<sup>105</sup>은 事<sup>106</sup>에

變<sup>107</sup>은 事<sup>108</sup>에 變<sup>109</sup>은 事<sup>110</sup>에 變<sup>111</sup>은 事<sup>112</sup>에 變<sup>113</sup>은 事<sup>114</sup>에 變<sup>115</sup>은 事<sup>116</sup>에

變<sup>117</sup>은 事<sup>118</sup>에 變<sup>119</sup>은 事<sup>120</sup>에 變<sup>121</sup>은 事<sup>122</sup>에 變<sup>123</sup>은 事<sup>124</sup>에 變<sup>125</sup>은 事<sup>126</sup>에





으로 收支均衡이 이 안이 되고 본다. 그러나 앞으로 안이

부決算의 長의 報告에 提議한 바와 같이 本事業

은 特別調査會를 命じて 構設하여 再檢討를 必每

가 切實한 것으로 본다

이름 稅~~牛~~牛의 稅牛事業의 爲에 九〇年의 更新

稅~~牛~~牛 = 入額의 對於 事業実績面에 決年面의 下타는

全額의 差額은 生起의 爲에 支拂의 委託 飼育

시키고 있는 稅牛牛의 發生之能 或 債의 極히 不良

한 것으로 본다 飼育是 監理 十年의 十頭의

發生之能은 充分한 것으로 인하여 是等의 成績

은 安지는 爲히 드래도 道に 選拔된 바는 稅牛牛

인 지나 이에 加한 或 債是 是도 努力에 指導

은러야되거이다 檀乳牛 或價이 不良인것은 更行

을 해야 할터인데 更行도 蘇<sup>粗</sup>急히 하고는 九〇年分의 爲方

원하는 入頭의 賣却은 一〇五〇圓인데 決<sup>平</sup>面의

枚<sup>入</sup> 〇七〇五〇圓은 보이고 안모르는 相違인 處事로

본다. 高<sup>度</sup>事業中의 어떤인 高<sup>度</sup>事業이

이렇게 不振 不<sup>符</sup>合인 狀<sup>態</sup>으로 이 事業 亦是

尙來은 爲<sup>何</sup>인 特別 調査를 하여 對<sup>事</sup>으로

清<sup>完</sup> 完<sup>了</sup> 必<sup>要</sup> 是<sup>否</sup> 크게 非<sup>常</sup> 是<sup>否</sup> 이다.

趙憲秀 議員

1. 各種工事に 團合이 많다. 特히 建設

課所管工事に 札關係를 보면 內定價格

三六一四三〇〇〇圓에 札價格 三五七四〇〇〇

圓으로 그 差異가 四萬圓에 이다. 細

分的으로 보면 札價格과 予定價格이

三〇〇〇圓으로 거의 同一하며 그 差額이 僅

少하고 事實上으로는 符合되지 않는 實

은 指名入札制가 있어서 業者當一年에

一三件 請負하게 되며 担当者의 暗示하

는 關係로 價格이 同一하게 된다

2. 指名入札者中 工事의 割은 建設課

의 辦公費로 使用한다. 만일이므로  
4. 1차으로 正當한 經費 入札으로 해서 다  
면 이런이므로 어찌으로 것인바 具體的인  
답습으로 바란다

3. 特局 諸費는 一種의 辦公費에 不屬  
하다. 3. 算算 審議 特마다 主張하지

마는 道에서 五三九九八〇圓의 大部分

을 酒代로 支拂하고 民議員 道議員

道幹部가 2對面이 나 이는 一般 辦公費

는 3. 算算 內示으로 起算 不하으로 여기

에서 代充하는 것인지 또는 金錢의 남은

4 使用 해서가 答습으로 바란다



4. 前渡金額精算에 이르러서 例로 드디어  
 서 말하면 前渡金額 一五〇,〇〇〇圓에 精  
 算金額도 一五〇,〇〇〇圓으로 符合되  
 는 事例가 許코자 하오나 支出의 浪費  
 이며, 常識的으로 生覺해도 前渡金  
 額과 精算金額이 完全符合되는 稀  
 少할 것이며 이는 金額으로 맞추기爲  
 한 帳法整理에 不遇 하나 여기에 처  
 한 答弁으로 要求하는 바이다

副議長

이로써 算長의 討論은 終結하고  
 答弁으로 드디어 全體 異議 없었음

慶尚北道

1. 稅收入의 增強에 替補의 財源에 對  
 하여 感謝하게 生覺하는 바이며 알  
 으로 最善의 努力을 다하여 財政穩  
 保에 遺憾이 없도록 하게 하  
 稅金의 完納에 替補의 財源이  
 特히 林野稅 같은 것은 보드라도 다  
 른 金源으로 替補하지 않음은 나  
 問題는 그런 事實이 全혀 없으며  
 林野稅는 五段步未滿에는 賦課하  
 지 않음은 替補로써 完納하는 것  
 은 替補이 아니라 이다

은 金源으로 替補하지 않음은 나  
 問題는 그런 事實이 全혀 없으며  
 林野稅는 五段步未滿에는 賦課하  
 지 않음은 替補로써 完納하는 것  
 은 替補이 아니라 이다

稅

2. 歲收의 徵收에 比해 計 10年度 收入

其他 歲非稅外 收入은 疎忽히 取扱하

지 않음은 나의 問題에 있어 計 全然 그런

일이 起어지며 便 河川 使用料 2로 보드

라도 測定 稅에 가까운 收入이 起어 計

으며 空地 貸家料는 年度 中 1/2로

올려 計 不足한 現象으로 招來하

여 計 不足하며 計 稅收 入의

1/2로 期하게 計다

3. 産業 試驗所는 不遠 公有化 申請

으로 道有地가 되도록 計하며

衛生 試驗所는 保健 社會 部 予算이

慶尙北道



價格은 本道業者가 參加함으로 設計方

向 設計의 內容은 一致되어 偶然한

一致가 되어서야 妥當하게 된다.

工事金의 割을 辦公費로 쓴다는 것은

今特 初聞이다. 마음은 經營가 必要한

것은 事實이나 이미 建設의 辦公費

에 計上되어 있으므로 이것의

事實 如하든 調査해서 妥當하게

다.

諸時의 諸費는 아직도 여러가지 行

가 雜系히 있으므로 特別히 軍

關係 또는 特局的인 未定함이 妥當하다



昨年(昨年)에 木山(木山)이 너무너무 그 當特(當特) 特價(特價)가 低

減(減)되어 斷定(斷定) 價額(價額)以上(以上)은 努力(努力)로 努力(努力)

해서 4 成果(成果)로 거드시 못하여 不得(不得)已

現物(現物)로 移越(移越)하게 되어 現存(現存) 三三

〇〇 價(價)로 確保(確保)하고 있다. 現特(現特) 價(價)로

三回(三回) 〇 萬圓(萬圓)이 될 수 있다. 三回(三回) 〇 萬圓(萬圓)

하기 바라며 აკ으로 多量(多量)으로 다 하겠다.

다. 制衣(制衣)가 너무너무 技術的(技術的)이라고 말스러우시는데

對(對)해서는 範圍(範圍) 限定(限定)된 範圍(範圍) 내에서

技術的(技術的)인 制衣(制衣) 산재(산재)에 의(의)해서 故(故)된 것으로

佳覺(佳覺)되며 一(一) 價(價)가 多量(多量)도 어찌오지 偶(偶)

佳覺(佳覺)되며 一(一) 價(價)가 多量(多量)도 어찌오지 偶(偶)

408

然一故된것으로 생보인되 나 諒解하시  
기바라다.

慶尙北道



畜政課長 答弁

① 却議及び懷疑の對し、人作の對に試驗所之道内  
 及び其の邊に高度的の施設を以て、畜畜衛生  
 試驗所之道合作の促進に努むる。その爲に現在より  
 算外施設を以て不満足に努むる。

② 事業の會計上の計算に錯誤を犯すは、是令各市  
 郡の照会中である。以て全額に差異を以て、且  
 或昨年より、其の差額を今年九一年度の計算  
 に以て、其の生管に於て、  
 積蓄の生管に努力を以て不足を以て、其の對し、  
 極力努力を以て、

全支漢議

①内務局長登井了 建築工事 不正の疑はるるものあり

実例を云ふに 孟徳 郡内にて 三年間 建築工事 是

某会社に委託し 建築工事 之の疑はるるものあり 不正

の疑はるるものあり 即ち此の検査を云ふが如きものあり 其

れが現場検査結果 昨年、同昨年より 疑はるるものあり

疑はるるものあり 之れは 疑はるるものあり 疑はるるものあり

疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり

疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり

疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり

疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり

疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり

疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり 疑はるるものあり

是日 該當部 之 技師 已 出 矣 是 日 細 察 之

檢 計 之 日 是 日 工 事 之 要 點 已 出 矣 是 日 也

③ 局 長 答 復 之 談 話 行 爲 之 點 是 如 下 也 是 日 也

談 話 之 事 是 日 也 是 日 也 誠 實 之 精 神 之 民 心  
이 日 工 事 之 要 點 已 出 矣 是 日 也

內 務 局 長 答 復

方 今 全 議 員 佐 疑 之 工 同 送 奉 亦 係 之 實 地 檢 計 也

其 日 之 矣 未 是 之 日 也 生 堂 也 也 未 道 道 路 矣 帶 陵 島

工 事 等 之 特 殊 之 工 事 之 特 殊 之 技 術 者 也 也 也

其 日 之 矣 未 是 之 日 也 生 堂 也 也 未 道 道 路 矣 帶 陵 島

隨 意 變 化 之 日 也 是 日 也 是 日 也 是 日 也 是 日 也

앞으로 直接 技術者를 帶同하여 調査 記의 是正 記

필요한 二가지의 全議 是正 指手 協助

가 出어 二가지의 是正 是正 是正 是正 是正

努力을 記한 二가지의 是正 是正 是正 是正 是正

### 全體 提議 是

卷內의 提議는 議會의 執行 部內의 是正 是正 是正

이 是正 議會 自作의 執行 部의 是正 是正 是正 是正

提議의 相互 反對 協助 是正 是正 是正 是正 是正

是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正

是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正

是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正 是正

① 新聞紙上の知事、議長の不信信報道の対抗は

いんげんかきり 内部の弱さの如く生覚証なり

送掌の対抗 佐疑の 周票場内の権根の知事の権限

いんげんかきり 平人の良心の執務の受託の如く

議長の佐疑の対抗 知事を経緯の如く

いんげんかきり 不信任云々 辻辻の如く

平人の知事と 平安の如く 一言で 萬事が解決の如く

生覚証なり 二つ 答弁の如く 必殺の 事務

いんげんかきり 平人の如く 固執の如く 送掌以外の如く

不満の如く 醜成の如く 如く 如く 反映の如く

是正の如く 如く

②議長不信任問題の弁論  
其辯任議員の對記

補闕通知を通告するに對し、議長の同一の一種

の底流の如く、議長の對する是の已憚

此の議長の論議論は、其の辭使の如く、

李建榮議員の退場時、議長の退場の自由の已

此の議長の對するは、議長の對するは、不滿の懸案

此の議長の議長の對するは、態度の如く、上述の如く

此の議長の離席の如く、道政佐野の如く、

此の議長の未了の如く、態度の如く、懸案の如く、

此の議長の自由の如く、答弁の如く、正視の如く、

③決算監査の結果、議長の弁論、其の公衆の過失の如く、







整同リ此ノ年  
九〇年波  
漢算ニ承認  
ニ